慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	重野, 寛(Shigeno, Hiroshi)
Publisher	慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター
Publication year	2016
Jtitle	慶應義塾大学DMC紀要 (DMC Review Keio University). Vol.3, No.1 (2016. 3) ,p.78- 78
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000003-0078

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

重野 寛
慶應義塾大学 DMC 研究センター副所長　理工学部教授

慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構（DMC 研究機構）を前身として，2010 年度に，慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター（DMC 研究センター）がスタートしました．6 年目の今年度，研究センター副所長は 2 人体制となり，これまでの活動に加えて，新しい活動も始まりました．研究センター創設以来，アナログとデジタルのコンテンツが相互補完的に作用する新しいミュージアムの在り方，方法論，技術，可能性に関する議論と実践を進めてきました．この活動は「大学におけるデジタルミュージアム」という方向を見ながら徐々に深化してきています．加えて，慶應義塾大学が正式に加盟した MOOCs（Massive Open Online Courses）配信事業体 FutureLearn に関する推進・支援も本研究センターのミッションに加わりました．FutureLeran における講義配信は，デジタルメディアを活用した，大学の持つ「知」のグローバルな発信を実現するものであり，新しい大学教育のスタイルを開くものと期待されています．本紀要では，このような DMC 研究センターの新たな息吹をお届けできたのではと思います．今後の活動にもご期待ください．

本年度は，DMC 研究センターの活動を牽引されてきた斎藤英雄先生が研究センター副所長を退任されました．また，本研究センターの活動にご尽力を頂いた鶴岡修さん，石田幸生さん，大前美由希さんが退職されます．そして，この紀要の編集を最後に，職員の鈴木秀樹さんも本研究センターを去られることが決まっています．長い間，ありがとうございました．